

『定例会議・新人教育・講演会でP3000を活用中。  
BCP対策としても期待できます』

実際に使っているお客様に直撃インタビューしました

株式会社ムラコシ精工 ファインコンポーネンツ事業部 様



■導入先

■お客様会社名称

株式会社ムラコシ精工 ファインコンポーネンツ事業部様

■お客様の業種 製造業

従業員250名(2012年8月)

■お客様の主な業務内容

自動車用重要保安部品、および、釣り具・空調機器などに使われている精密加工部品の製造

■導入商品

■機器構成 P3000×4台

■ご導入拠点

4拠点:いわき・東京・名古屋・大阪

■料金体系

ダブルフラット6-18 2台、シングルフラット12 2台

■導入形態

新規導入

導入の背景・導入前の課題

他の事業部では他社ビデオ会議システムを導入しており、必要都度借りて使用していましたが、経営者層が定例会議のたびに東京といわきを頻繁に行き来していることや、遠隔地の拠点同士で効果的に会議やコミュニケーションを図ることを考え、ビデオ会議の導入を検討していました。

以前、他社ビデオ会議システムや他社WEB会議を紹介していただきましたが、費用対効果や使い勝手の問題があり見送っていました。

この度、P3000を紹介していただき、コスト面・操作性・画質・音質と全ての面が優れていたため、導入しました。

P3000をこのように利用しています

隔週行う定例会議で活用しています。

遠距離の移動がなくなり、時間の節約になっています。リーダー会議や営業所同士の打ち合わせなど、小規模な会議でも都度使用していて、以前より社員同士のコミュニケーションの場が増えてきました。

会議以外でも、ISOの内部監査や図面を使った打ち合わせなどで、お互いの資料を確認して共有認識をもったり、新人教育の講習や各種講演会の配信をしたり、いろいろと活用を増やしています。

導入後の効果

顔を見ながら会議・打ち合わせを実施することで、今まで電話やメールでは伝え切れなかった詳細部分の確認や、意思の疎通がスムーズにできるようになったと感じています。

お客様の声・今後の展望

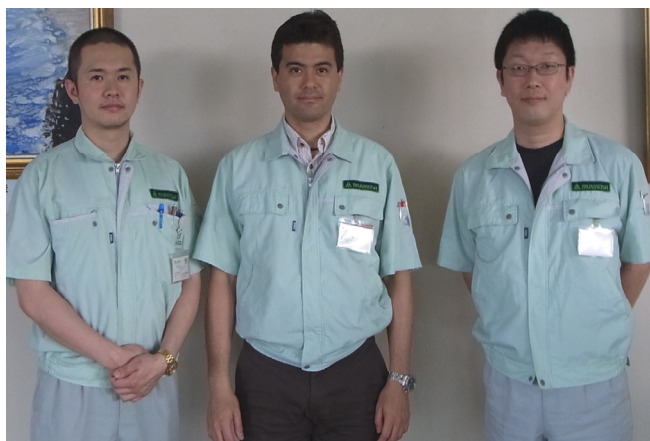
P3000は、一体型でコンパクトなので場所をとらず、操作も簡単なので誰でも使いやすく、頻繁に活用しております。当社は先の東日本大震災での被災企業ですが、各事業所と電話連絡がとれずに苦労した当時でも、インターネットを使った通信は非常に有効でした。もしもまた同じような災害が発生した場合にも、安否確認等や指示伝達などの通信インフラの一環になると考えております。そして今後は、機器の対応次第では海外拠点との接続も検討しています。

要望としては、セキュリティカメラの機能が追加されれば、活用の方が更に広がると思います。本体の防水性や防油が高まれば、より場所を気にしないで使うこともできますね。

■ 勿来工場(いわき市)会社概観



■ インタビューにご協力いただいた皆様



左から 情報管理課主任 佐藤 翔太様  
代表取締役専務 村越 雄介様  
情報管理課課長 小松 慎一様